

令和3年度 授業計画（シラバス）

科目名	疾病と治療Ⅳ(理学療法)	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義・演習
対象学年	2学年	単位(時間)	1 (10/30)	開講時期	2年前期
担当教員： 非常勤講師					
≪科目目標≫ 運動障害や高次機能障害に対する理学療法の特徴と生体の反応を理解する					
≪成績評価の方法≫ 筆記試験					
≪使用教材（教科書）及び参考図書≫ 系統看護学講座：別巻 リハビリテーション看護 医学書院					
≪授業外における学習方法≫					
≪履修に当たっての留意点≫					
回数	時間数	内 容			教授方法
1	2	リハビリテーションの概論と基礎			講義
2	2	運動器系の障害とリハビリテーション			講義
3	2	杖・車椅子の操作実習			演習
4	2	中枢神経障害のリハビリテーション			講義
5	2	呼吸器系障害のリハビリテーション			講義

令和3年度 授業計画（シラバス）

科目名	疾病と治療Ⅳ(作業療法)	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
対象学年	2学年	単位(時間)	1 (10/30)	開講時期	2年前期
担当教員： 非常勤講師					
≪科目目標≫ 運動障害や高次機能障害に対する作業療法の特徴と生体の反応を理解する					
≪成績評価の方法≫ 筆記試験					
≪使用教材(教科書)及び参考図書≫ 系統看護学講座：別巻 リハビリテーション看護 医学書院					
≪授業外における学習方法≫					
≪履修に当たっての留意点≫					
回数	時間数	内 容			教授方法
1	2	作業療法の実際 起居・移乗・移動			講義
2	2	作業療法の実際 ADL評価法、作業療法と看護の連携			講義
3	2	作業療法についての概論			講義
4	2	作業療法の実際 ①食事			講義
5	2	作業療法の実際 ②排泄、更衣、整容、入浴動作			講義

令和3年度 授業計画（シラバス）

科目名	疾病と治療Ⅳ(言語療法)	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
対象学年	2 学年	単位(時間)	1 (10/30)	開講時期	2 年前期
担当教員： 非常勤講師					
≪科目目標≫ 運動障害や高次機能障害に対する言語療法の特徴と生体の反応を理解する					
≪成績評価の方法≫ 筆記試験					
≪使用教材（教科書）及び参考図書≫ 系統看護学講座：別巻 リハビリテーション看護 医学書院					
≪授業外における学習方法≫					
≪履修に当たっての留意点≫					
回数	時間数	内 容			教授方法
1	2	言語聴覚療法概論 嚥下のメカニズム			講義
2	2	嚥下評価、間接訓練			講義
3	2	嚥下直接訓練、聴覚障害			講義
4	2	高次脳機能障害、嚥下体操			講義
5	2	失語症・構音障害			講義

令和3年度 授業計画（シラバス）

科目名	疾病と治療Ⅴ（麻酔）	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
対象学年	2学年	単位(時間)	1（10/30）	開講時期	2年前期
担当教員： 非常勤講師					
≪科目目標≫ 麻酔が生体に与える影響について理解する					
≪成績評価の方法≫ 筆記試験					
≪使用教材（教科書）及び参考図書≫ 高齢者と成人の周手術期看護2 術中/術後の生体反応と急性期看護 医師薬出版					
≪授業外における学習方法≫					
≪履修に当たっての留意点≫					
回数	時間数	内 容			教授方法
1	2	麻酔について、麻酔の種類と合併症、術前・術後訪問			講義
2	2	麻酔について、回復室での全身管理			講義
3	2	麻酔について、手術および麻酔侵襲と生体反応			講義
4	2	麻酔について、術後合併症の予防			講義
5	2	総括			講義

令和3年度 授業計画（シラバス）

科目名	疾病と治療Ⅴ（手術）	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
対象学年	2 学年	単位(時間)	1 (4/30)	開講時期	2 年前期
担当教員： 非常勤講師					
≪科目目標≫ 手術が生体に与える影響について理解する					
≪成績評価の方法≫ 筆記試験					
≪使用教材（教科書）及び参考図書≫ 高齢者と成人の周手術期看護 3 開腹術/腹腔鏡下手術を受ける患者の看護 医師薬出版					
≪授業外における学習方法≫					
≪履修に当たっての留意点≫					
回数	時間数	内 容			教授方法
1	2	腹腔鏡手術について			講義
2	2	開腹手術と周手術期の看護（胃がん・大腸がん）			講義

令和3年度 授業計画（シラバス）

科目名	疾病と治療V (ME)	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義・演習
対象学年	2 学年	単位 (時間)	1 (16/30)	開講時期	2 年前期
担当教員： 非常勤講師					
<<科目目標>> 主な医療機器の原理を理解する。					
<<成績評価の方法>> 筆記試験					
<<使用教材（教科書）及び参考図書>> 随時参考資料配布					
<<授業外における学習方法>>					
<<履修に当たっての留意点>>					
回数	時間数	内 容			教授方法
1	2	輸液ポンプ・シリンジポンプの原理・取り扱い			講義・演習
2	2	電気メス、低圧持続吸引器の取り扱い			講義・演習
3	2	酸素飽和度測定装置取り扱い			講義・演習
4	2	HF T 取り扱い方法			講義・演習
5	2	NPPV / 人工呼吸器の取り扱い			講義・演習
6	2	生体情報モニタの取り扱い			講義・演習
7	2	除細動器・ペースメーカーの取り扱い			講義・演習
8	2	IABP, PCRS の取り扱い			講義・演習

令和3年度 授業計画（シラバス）

科目名	疾病と治療VI(放射線治療)	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
対象学年	2 学年	単位(時間)	1 (7/15)	開講時期	2 年前期
担当教員：非常勤講師					
<<科目目標>> 放射線治療の基礎的知識を理解する					
<<成績評価の方法>> 筆記試験					
<<使用教材（教科書）及び参考図書>> 系統看護学講座：別巻 臨床放射線医学 医学書院					
<<授業外における学習方法>>					
<<履修に当たっての留意点>>					
回数	時間数	内 容			教授方法
1	2	画像診断と看護			講義
2	2	X線を使用しない画像診断と I V R			講義
3	2	放射線治療と看護			講義
4	1	放射線による身体への影響			講義

令和3年度 授業計画（シラバス）

科目名	疾病と治療VI(女性生殖器)	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
対象学年	2 学年	単位(時間)	1 (8/15)	開講時期	2 年前期
担当教員： 非常勤講師					
≪科目目標≫ 女性生殖器系の健康障害と治療について理解する					
≪成績評価の方法≫ 筆記試験					
≪使用教材（教科書）及び参考図書≫ 系統看護学講座：専門分野Ⅱ成人看護学9 女性生殖器					
≪授業外における学習方法≫					
≪履修に当たっての留意点≫					
回数	時間数	内 容			教授方法
1	2	女性生殖器の構造と内分泌機能			講義
2	2	婦人科診察、処置、検査			講義
3	2	婦人科疾患（各論）			講義
4	2	乳がん			講義

令和3年度 授業計画（シラバス）

科目名	疾病と治療Ⅶ(免疫・アレルギー)	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
対象学年	2学年	単位(時間)	1 (8/15)	開講時期	2年前期
担当教員： 非常勤講師					
≪科目目標≫ 免疫・アレルギー系の健康障害と治療の概要を理解する					
≪成績評価の方法≫ 筆記試験					
≪使用教材（教科書）及び参考図書≫ ナーシンググラフィカ EX 疾患と看護④ 血液/アレルギー・膠原病/感染症 メディカ出版					
≪授業外における学習方法≫					
≪履修に当たっての留意点≫					
回数	時間数	内 容			教授方法
1	2	免疫・アレルギーの基礎			講義
2	2	アレルギー疾患			講義
3	2	膠原病の基礎			講義
4	2	膠原病の臨床			講義

令和3年度 授業計画（シラバス）

科目名	疾病と治療Ⅶ(補完・代替療法)	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
対象学年	2 学年	単位(時間)	1 (7/15)	開講時期	2 年前期
担当教員： 非常勤講師					
<p>《科目目標》</p> <p>補完・代替療法の概要を学ぶ。西洋医学とは異なる切り口で、患者を全人的に捉え、自然治癒力を引き出す療法について理解する</p>					
<p>《成績評価の方法》</p> <p>筆記試験</p>					
<p>《使用教材（教科書）及び参考図書》</p> <p>基本としくみがわかる東洋医学の教科書 ナツメ社</p>					
《授業外における学習方法》					
《履修に当たっての留意点》					
回数	時間数	内 容			教授方法
1	2	食養生とミトコンドリア			講義
2	2	東洋医学の基礎・脂質			講義
3	2	自律神経と感情のしくみ			講義
4	1	自然医学の基礎			講義